

海友丸通信

令和4年5月28日

「航海系」

- A. K 船体の揺れが心地よくなってきたところに、操業が始まり慌ただしくなりましたが楽しく投縄、揚縄作業でき、やり甲斐のある実習でとてもいい経験ができています。
- I. T 操業が始まり、航走中と異なる日課なので慣れるまではとてもきつい思いをしました。操業では巨大なマグロが釣れ、とても感動しました。
- U. M 今3回目の漁労実習をしています。初回には大量のマグロが漁獲され、すごく嬉しく感動しました。残りの回でも大量を願っています。
- O. Y 1か月が経ち、今現在で分かったことは、毎日の食事が普通に感じられるようになったことです。操業ではでっかいマグロが釣れ、とても楽しいです。
- K. R ストイックな生活を始めて早1か月が経ち、色々な欲を絶ったことにより、もはや欲も感じなくなった。あと少しで仙人になりそうだ。
- K. R 操業では記録係の場合、あまり身体を動かすことが無く辛いです。濃い口派の私には船の食事が薄く感じられます。でも海友丸最高！
- K. Y 今日で操業9日目となりました。きついこともありますがなんとか頑張っています。この操業で色々なことを学んでいきたいです。
- K. M 船酔いに慣れてやっと船内生活を快適に感じてきたところです。操業は自分が思っていたよりも楽しく、本当に良かったなと思いました。
- K. I 操業はかなりきついですが、でもミズウオやメカジキなど初めて見る魚も多くとても楽しいです。
- T. K 海友丸生活1か月が過ぎようとしています。船内生活に慣れて今は楽しいです。帰ったら色々な事をしたいです。まずゆっくり寝たいです。
- N. N マグロ操業は予想以上に楽しいと感じます。特に魚体調査、ボンデン引きなどが楽しいです。
- Y. A 今日で操業8回目を迎えました。100キロ級のマグロが釣れ、とても興奮しました。とりあえず早く陸が見たいし帰りたいです。

作業班で記念撮影。メバチマグロ100kg



「機関系」

- K. S 操業を始めて体験して、今までの生活がいかに自分に甘かったか、そして自分から進んで行ってこなかったのかが分かった。
- K. S 操業が始まりました。初めてのことばかりでとてもきついですが、マグロやカジキが漁獲されたときは辛さを超える喜びを感じます。
- T. M 操業が始まってから、今までと違ってゆっくりする時間がなくなり忙しくなりました。揚縄中は足が辛いです。
- N. K 初めてのマグロ延縄操業が始まり、朝早くから投縄作業、夜遅くまで揚縄作業と、とても辛いです、魚が漁獲されたときはとても嬉しいです。
- N. K 空が青く、海しか見えないそんな日々、お菓子のストックが無くなる今日この頃、長崎に帰港したときは成人になっていると思うとなんだかにんまりします。

推定 100kg オーバーのメバチマグロでしたがマグロ船天敵のシャチに食べられてしまいました。頭だけで36kg。



メバチマグロ45kg



操業も残り数回となりました。漁獲されるマグロ類に驚きと喜びで毎回楽しく笑顔を見せています。船酔いする生徒もなく、順調に実習を行っています。お菓子類の食べ物が底をついている生徒も出ていますが、その分船内の食事を山盛りで食べています。このまま無事操業が終われば、次は生徒が楽しみにしている小笠原寄港です。 指導教官 橋口茂樹